

報道各位

『国際湿地都市 NIIGATA』のプロモーション第1弾を実施します。

- ①新潟駅バスターミナルにおけるPR掲示（7/26～）
- ②オリジナル湿地カードの配布（8/1～）

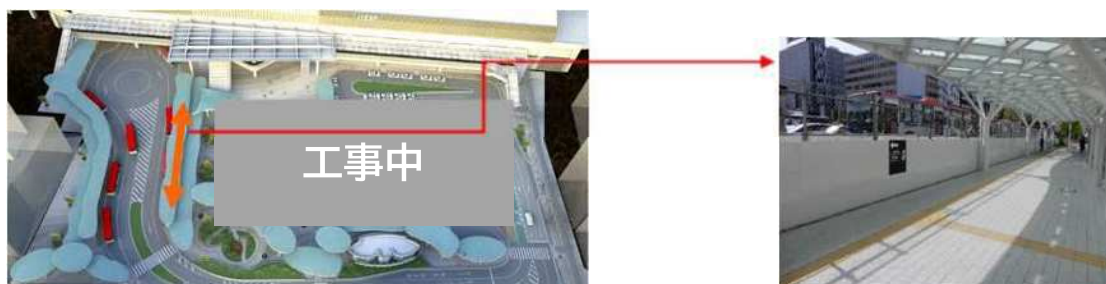
新潟市では、ラムサール条約湿地自治体認証の周知・PRのほか、本市の潟の魅力を多くの方に知っていただくプロモーションの一環として、本日、7月26日（金）から多くの人々が行き交う新潟駅のバスターミナルに大規模なPR掲示を行いました。

また、本市の潟のプロモーション及び実際に潟に来ていただけるきっかけづくりとして、夏休み期間中である8月1日（木）から、潟の周辺施設でオリジナル「湿地カード」を配布します。

本件に関して市民に広く周知するため、積極的な取材・広報にご協力をお願いします。

1 新潟駅バスターミナルでのPR

- (1) 設置場所 新潟駅バスターミナル（万代口外部）仮囲い壁面 延長約48m（高さ1.3m）



- (2) 掲示内容

国内初となるラムサール条約湿地自治体認証やラムサール条約湿地である佐潟をはじめ、福島潟、鳥屋野潟、上堰潟の写真等を掲示（全体のデザインは裏面参照）



2 オリジナル湿地カードの配布（6種類）※別紙参照

配付場所には「案内のぼり」が立っています。（先着順※1）

湿地カード	配布場所（施設）※2
福島潟	・水の駅ビュー福島潟（北区前新田乙493番地）
十二潟	・岡方コミュニティセンター（北区長戸呂4601番地）
じゅんさい池	・中地区コミュニティセンター（東区松和町15-8）
鳥屋野潟	・鐘木インフォメーションセンター（県立鳥屋野潟公園内）
佐潟	・佐潟水鳥・湿地センター（佐潟公園内）
上堰潟	・上堰潟公園管理事務所（上堰潟公園内）



案内のぼり→



※1 福島潟、鳥屋野潟、佐潟、上堰潟は各4,000枚

十二潟、じゅんさい池は各2,000枚

※2 各施設の開館時間内で配布します。

【お問い合わせ先】

新潟市環境政策課 佐藤・高橋
電話025-226-1356(直通)

新潟市オリジナル「湿地カード」(第1弾)

<見本①>

福島潟 (北区)	十二潟 (北区)	じゅんさい池 (東区)
 <p>Fukushimagata 福島潟</p> <p>Potential Ramsar Site ラムサール条約湿地潜在候補地</p> <p>Ver. 1.0 (2024.07)</p>	 <p>Junigata 十二潟</p> <p>Ver. 1.0 (2024.07)</p>	 <p>Junsaiike じゅんさい池</p> <p>Ver. 1.0 (2024.07)</p>
<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市北区新岸甲ほか 標高：-0.7m 面積：262ha 湿地のタイプ：淡水湖 成因：潟湖 EAAFPネットワーク参加地 No.049 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p> <p>湿地の概要</p> <p>面積が新潟市内最大の湖。長年の干拓により面積が縮小されてきたが、現在は洪水調整池として管理され、一部では復元も行われている。220種以上の野鳥や、450種以上の水生・湿性植物などが確認されている。国の天然記念物オオヒシヤイの越冬地では飛来数が日本一。また、希少植物オオハスの日本北限の自生地でもある。</p> <p>地域活動</p> <p>市民団体により、菜の花畑の遊路や舟舟の乗船体験、昆虫・植物・野鳥の観察会などが行われている。また、3月頃には、湖の環境保全のため「ヨシ焼き」が行われている。秋の「福島潟自然文化祭」では、LEDを用いて地域の人々や子どもたちによりオオヒシヤイが描かれる「雁道灯(かみづり)」が行われる。</p> <p>新潟市の鳥ハクチョウ Niigata City Bird "Swan"</p> <p>Wetland City Network</p>	<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市北区平林、十二、灰塚 標高：1.6m 面積：5.4ha 湿地のタイプ：淡水湖 成因：三日月湖(河跡湖) 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p> <p>湿地の概要</p> <p>蛇行した阿賀野川の一部が残った三日月湖。かつては阿賀野川の本流だった。地元では「古阿賀(ふるあが)」とも呼ばれている。横断する直道によって上流から上池(かみいけ)、中池(なかいけ)、下池(しもいけ)に分かれ、今も農業用水源として利用されている。</p> <p>植物相と地域活動</p> <p>希少種であるガブタヤコウホネなどの浮葉植物を見ることが出来る。また、アサゲについては新潟県内で最大の群落をつくり、夏には黄色の花が湖を覆い尽くす。地域団体が保全活動や観察会の開催、外来植物の駆除などに取り組むほか、近年では周辺の小学校と連携し、湖の水質調査、植物分布調査などの取組みも行っている。</p> <p>新潟市の鳥ハクチョウ Niigata City Bird "Swan"</p> <p>Wetland City Network</p>	<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市東区松園 標高：-0.3m 面積：0.8ha 湿地のタイプ：淡水湖 成因：砂丘湖 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p> <p>湿地の概要</p> <p>東池(0.3ha)、西池からなる砂丘湖。この池の名前は水生植物「ジュンサイ」に由来している。池の周囲は赤松など多くの木々や遊歩道のある「じゅんさい池公園」として整備されている。住宅地に囲まれたこの公園は、市街地に残された貴重な自然環境として市民に親しまれている。</p> <p>動植物相と地域活動</p> <p>市街地・平地・山地・水辺と、さまざまな環境に住む鳥が生息し、水生植物ではジュンサイやタヌキモ、ガマやヨシなどが生育している。近年ではブラックバス(オオクチバス)やブルーギル、ミシシippアカミガメといった外来生物も確認されている。地域の団体が連携して保全活動を行い、環境学習の場となっている。</p> <p>新潟市の鳥ハクチョウ Niigata City Bird "Swan"</p> <p>Wetland City Network</p>

新潟市オリジナル「湿地カード」(第1弾)

<見本②>

鳥屋野潟 (中央区)	佐潟 (西区)	上堰潟 (西蒲区)
<p>Toyonogata 鳥屋野潟 Potential Ramsar Site ラムサール条約湿地潜在候補地</p>  <p>Ver. 1.0 (2024.8.7)</p>	<p>Sakata 佐潟 Ramsar Site No.820 ラムサール条約湿地</p>  <p>Ver. 1.0 (2024.8.7)</p>	<p>Uwasekigata 上堰潟</p>  <p>Ver. 1.0 (2024.8.7)</p>
<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市中央区鳥屋野ほか 標高：-2.5m 面積：158ha 湿地のタイプ：淡水湖 成因：溜湖 保護の制度：県指定鳥獣保護区 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p>  <p>湿地の概要 <small>新潟市「海」のデジタル博物館</small></p> <p>周辺地域が海抜ゼロメートル地帯であり、洪水調節池として、排水ポンプにより水面は標高マイナス2.5メートルに維持されている。周辺には公園や公共施設が整備されている。市街地にあり、かつては水質の悪化が問題であったが、非灌漑期にも河川水を導入する「環境用水」などにより現在は高い水質を維持している。</p> <p>動物相と地域活動</p> <p>数千羽のハクチョウをはじめとする多くの冬鳥が飛来するほか、ここで繁殖するカンムリカイツブリも見られる。また、コイやフナなどの漁業に加え、市街地に残る豊かな自然の魅力を活用し、発信するため、市民、各種団体により「とやの物語」や「沼マルシェ」などのイベントの場として活用されている。</p> 	<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市西区赤塚 標高：4.8m 面積：7.8ha(水面4.4ha) 湿地のタイプ：淡水湖 登録：1996年3月 EAAFPネットワーク参加地 No.057 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p>  <p>湿地の概要 <small>新潟市「海」のデジタル博物館</small></p> <p>上流と下流の2つの湖沼と周辺の低湿地からなる、流れ込む川はなく、周辺砂丘地からの湧水や雨水によって供給されている。冬でも全草凍結しない佐潟では、コハクチョウ、マガシロ、ヒシクイなどが多数越冬する。毎年3,000羽以上越冬するコハクチョウは、早朝に周辺の田んぼへ探餌しに飛び立ち、夕方再び佐潟に戻って、ねぐら入りする。</p> <p>伝統的な湖利用と湖曹請の復活</p> <p>佐潟の水は、昔から下流域の水田灌漑用水として利用され、また湖水の水質の維持のため、地元住民により水位管理が行われている。また、昔から、湖内の水車刈り、湖底の堤防土の崩れなどの「湖曹請(かたふしん)」とよばれる湖の水管理が地元住民により行われ、一旦は途絶えたものの、「佐潟クリーンアップ活動」として再び行われるようになった。</p> 	<p>WETLAND-DATA</p> <p>所在地：新潟市西蒲区松野東 標高：3.5m 面積：11ha 湿地のタイプ：淡水湖 成因：人造成 保護の制度：県指定鳥獣保護区 詳しいデータはこちら ▶▶▶ Details and Multilingual Ver.</p>  <p>湿地の概要 <small>新潟市「海」のデジタル博物館</small></p> <p>角田山の麓(ふもと)近くの湖。かつては農業のかんがい用水源だった。一時は干拓計画等により陸化したことが、洪水調節池として復元され、河川を渡って海と直結つながら湖となっている。湖の周囲は遊歩道や水道が整備され、自然が楽しめる公園となっている。</p> <p>動物相と地域活動</p> <p>春にはサクラや菜の花、夏にはヒマワリ、秋にはコスモスの花が咲き、冬には多くのハクチョウを含むガン、カモ類が訪れるなど、四季折々の楽しみ方ができる公園となっている。また、秋には新潟野美術大学の学生と市民ボランティアとの協働制作による「わらアート」作品の展示を中心としたイベントが開催される。</p> 